

なごみ庵

月第9号

～事業所移転しました～
シルバーとつぷ郡山

郡山市方八町2丁目1-37

TEL 024-941-1155

FAX 024-942-2258

福祉用具専門相談員 3名
社員数4名◆弊社の事業内容はホームページでも
ご確認頂けます<http://www.silvertop.org>

お世話になっております。シルバーとつぷの荒井です。新年度を迎え、介護保険制度改正に伴いお忙しい日々が続いていることかと思ひます。私もケアマネジャーの皆様、ご利用者様へご迷惑のかからないよう、お役に立てるように精進していきたく思ひしております。

さて、季節は春。桜の季節ですね。学生時代は新しいクラスメートと仲良くなれるか心配してみたり、花粉症で顔が崩れてみたり、とにかく春が憂鬱でした。社会人になり、去年からは三春町へお邪魔させていただくことが多くあり、車の中からまだ雪の被った「三春滝桜」をいつも横目で見ていました。今年こそ桜の盛りの頃に足を運んで「春」を満喫したいと思ひています。他にもちょっと歴史を感じる雰囲気のある桜、寂しい場所にひっそりと咲いている桜、車窓から眺めてこそ良い感じの桜など、人によって好みのスポット、風情は違うと思ひます。どこかおすすめがあれば、お時間がある時にでも是非教えてください。（荒井 亮太郎）



今月のごあいさつ

今月より「東北発★未来

塾」という番組がNHKで始まりました。この番組は、東日本大震災から1年が経過し、これからの街づくりをどう進めていくべきかを東北在住の大学生が考え、各グループに分かれてプレゼンを行う番組です。大きな痛手を受けた観光・漁業、命の尊さを伝える教育、継続的なボランティア支援。これら4つのテーマに番組は触れています。各テーマごとにゲスト講師を招き、講師の指導を受けながら発表内容を詰めていきます。

3月に放映された特番では「夢のある街づくり」がテーマでした。孤独死、若者の流出という重い課題を彼らがどうやってプランニングをしていくかが醍醐味でした。印象に残ったグループの一つを紹介しましょう。彼らは

シャッター通りと化した商店街に注目しました。取り上げた商店街の多くは2階建てで1階は店舗、2階は住居として使用しています。その住居部分を高齢者用のシェアハウスとして使用するアイデアを発表しました。また、教育機関を誘致しインターンとして商店街を活用してもらいます。店主は地域の産業を伝承し若者の流出を食い止めます。

「福祉」はみんなの幸せという意味です。掘り下げていくとテーマも多岐に渡ります。番組を見ていて一つのテーマが思いもよらないテーマと密接に結び付くところはなかなか面白いです。「福祉」を多角的な視線で見る力を養える番組ではないでしょうか。

金曜日 23時30分～50分
(サービス部 小峯啓友)



【お坊さんに癒やされたい?】

算し足の暮らしの

お寺を訪ねて御朱印を集めたり、宿坊に泊まってブチ修行を試してみたり、こしばらくお寺ブームが続いています。そんな中「僧職(そうしやく)男子」という言葉が登場しました。同じ「そうしやく」でも僧職男子とは僧侶のこと。特に若手の僧侶を指すそうです。

お坊さんはお葬式や法事でお世話になる人。そんなイメージが変わりつつあります。お寺でトークライブをしたり、住職の手料理をふるましながら世間話の感覚で説法したりする三十代の若手僧侶が密かに人気で、同世代には「思いや悩みを共感できる等身大のかっこいい存在」と映るようです。

東京・銀座の「銀座モダンアート」というギャラリーでは、僧侶のトークが女性に人気の「僧職



男子に癒やされナイト」を定期的に開催しています。参加者の声を聞くことがありがたい話を聞かせていただくというより友達に会いに行く感覚なのだとか。

「どうしたら旦那に主婦業の大変さをわかってもらえますか?」「感謝する気持ちを持つことが大事です。その場で悩みや愚痴を共有して、仏教の教えを交えたゆるいトークでこころのデトックスをする。3・11の大震災以降、不確かな世の中に不安を抱えている人たちが大勢いますが、揺るぎない仏教の教えは、不安な時代を生きるヒントと癒しになるのかもしれないね。

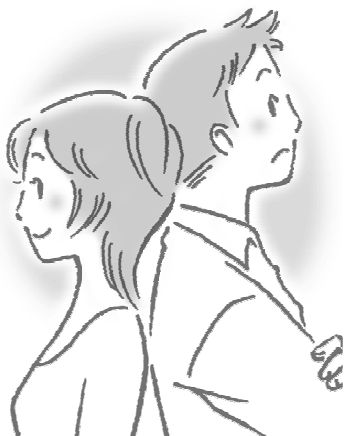
いつまでも、好き嫌いだけで人間関係を考えていては、幅の広い柔軟な感性は養えない。

——山本コータロー (ミュージシャン)

何にでも「相性」というものがあります。モノなら自分に合うものを自分で選べますが、人間関係はそうもいきません。職場や近所に相性の悪い人がいても、「嫌いだから」という理由でお付き合いを避けるのは難しいものです。かといって苦手意識を持つままだとストレスが溜まり、その人との関係がぎくしゃくします。

じ さ と ひ み ご な

溜まり、その人との関係がぎくしゃくします。山本コータローさんの言葉はこう続きます。「嫌いだろが、性格が合わなからうが、その人と自分の違いを発見し、異なった人生を学ぶ姿勢でのぞめば、かえって相手の良さも見えてきて、自分も成長していくのである。」



「違い」を毛嫌いせず「学び」と捉えてみたらどうでしょう。「違い」を受け入れることで考え方の幅が広がり、人は成長します。



事故がもたらす影響を考える・・・

講習後は座学講習で危険予知の知識を養います。

それだけでなくチエーンの巻き方、タイヤの溝の計測を教える事もあります。整備された車両があつてこそその安全運転ですが、車離れはこまできてくるのかと痛感します。こうした取り組みをしてもなお、依然として事故は発生します。その都度、当社の運転研修は十分機能しているのか考えさせられます。

特にデイサービスなど高齢者のたくさん集まる場所においては、十分なほどの注意を促しております。事故を起こさず、お客様とお約束したアポイントを遵守するよう、全社をあげて取り組んでまいります！。

(サービス部 小峯啓友)

ドア派の趣味を持つ若者が増えたこと。公共交通機関の整備が拡大されていることが某保険会社の統計で明らかにされています。幸か不幸か自動車離れによる運転頻度の減少は11年連続交通事故死亡者数の減少にいたりました。

しかし、一方で交通事故の発生件数は毎年過去最高数字を記録しています。

運転が未熟でスピードを出さなため死傷者は出さないが、事故の頻度が多いということが特徴です。その特徴は、この多分に漏れず当社の若手社員にも当てはまります。

現在、当社は50台の車両が毎日県内を運行しております。台数が増えると当然、交通事故のリスクも高くなります。起業して24年になります。その間多くの事故に遭遇し、お客様を待たせてしまうこともあり

今月は自動車の運転について者

えたいと思います。自動車といえは生活や仕事の中で欠かせないものです。しかし、車で移動する事で渋滞に巻き込まれたり、事故を起こしたりすれば利用者様との大切なアポイントに遅れることもありますよね。事故の処理には時間がかかる上、費用も発生します。

【昨今の交通事故の特徴】

若者の車離れが深刻化しているのを、御存知の方が多いかもしれません。

車離れの代表的な原因として、インターネットが普及した結果、イン

【スキル十知識・経験⇨安全運転】

若手社員による事故件数の増加は、人命を奪いかねません。当社では、今まで先輩社員が新人に対して運転技術の指導を行っておりました。しかし、5年ほど前よりパーパードライバースクールに依頼し、プロの教官の指導を仰いでおります。合格ラインまで運転スキルが到達しない限り彼らは社用車を運転することはできません。最近はおー

トマ限定で免許を取得する新入社員が多く、入社後初めてミッション車を運転するのが大半です。実技の



心得の教科書

【せむころん版で語る】

フリーアナウンサーの小宮

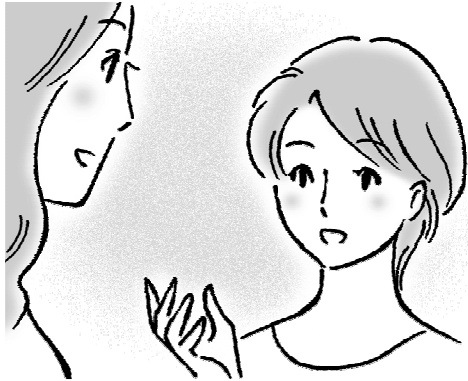
悦子さんは、ニュース原稿を読む際に、ふだんの話し声より意識的に低い声を心がけているそうです。あの落ち着いた雰囲気は声のトーンを研究した結果ということですよ。

話し方にはその人の知性が表れますが、声にも知性がにじむのではないかと思えます。知性だけではありません。声には、そのときの感情やこころの状態も出てしまします。イライラしているときは嬉しい声。緊張しているときは声も緊張しています。本人にその気はなくても聞いている人には伝わっているでしょう。

声の質は持って生まれたもの

のですが、声の出

し方やトーンで声の印象は変わります。相手にちゃんと伝えたいときは、相手のこころに届く声で話しましょう。緊張するのとどが狭くなってダメ声になりがちです。ゆったりとリラックスしてのどをゆるめ、気持ち低めのトーンで話すように意識すると、相手のこころに届くやせいい声になると思えます。



左の単語の（ ）に入るもっとも適切な単語を右から選んでください。

<左>

- ① () 頭脳 ② () 意志
③ () 事実 ④ () 視界

<右>

- * 明白な * 明確な
* 鮮明な * 明晰な

右の単語はどれも「はっきりした」という意味で、一見どれも当てはまるように思えます。しかしポイントは「もっとも適切」な組み合わせ。日頃から本をよく読んでいる人は言葉の使い方を文脈で覚えているので、消去法で「最適な使い方」を決めていくことができます。

「明白」とは、誰の目にも明らかで疑いの余地がないこと。「明白な」に続くもっとも適切な単語は「事実」です。「明晰」の「晰」には、天

から来る矢のようにキラキラしているという意味があります。「明晰な意志」や「明晰な視界」とは言いません。「明晰な」というなら「頭脳」でしょう。

残るは「鮮明」と「明確」。「鮮明な意志」と「鮮明な視界」はどちらも表現としてはありますが、「鮮明」の「鮮」とは取りたてで生きが良く生々しいことです。「意志」か「視界」かといえば「鮮明な視界」の方が最適です。すると「明確な」が残り、「明確な意志」となります。

食べる楽しみ…

目ごろのメンテナンスを!

【誤嚥性肺炎】

高齢期になると誤嚥性肺炎に気がつけなければなりません。一般的に年を重ねると、唾液の分泌量が少なくなります。唾液には抗菌作用、消化作用、自浄作用、口臭予防などの働きがあります。重要な役割を果たす唾液が少なくなることで、口腔内は細菌が繁殖してしまいます。その細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで肺炎を引き起こします。高齢期の肺炎は重症化しやすいため、気をつけなければなりません。そのためには口腔内のケアを励行し、細菌の繁殖を予防する必要があります。

【はちみつレモンで唾液を促進】

紹介する「ハーウエット」は、唾液の分泌を促す商品です。はちみつとレモン果汁を使用しており、さわやかな酸味が特徴です。そのため、あまり口を開けたがらない方に対して簡単に使用できます。唇にぬってあげ

れば自発的に舌先の運動を促すこともできます。虫歯のもとになる「シヨ糖」を除去しているのも安心ですね。

【カテキンの力で抗菌】

口腔内を清潔に保つには歯磨きを励行することが一番です。しかし、認知症を患っている方やご利用者にブラシを当てるのは苦勞が伴います。「歯磨きティッシュ」は抗菌効果のあるカテキンを染みこましたウェットティッシュです。直接歯を拭うことで食べかすを取り除くことができます。

口は体内に様々なものを取り込む窓口です。ご利用者様一人一人に適した口腔ケアを行うことで、病気を予防し、食べる楽しみを維持したいですね!

(サービス部

友)

小峯啓



管理者の独り言

先日、評論家で詩人の吉本隆明氏が亡くなった。同氏は、自分が学生の頃、進歩的な学生のカリスマ的存在で、「共同幻想論」とか「言語にとって美とは何か」とかの著書はバイブルのようなもので、友人の誰の部屋に行っても書棚に並んでいた。自分の書棚にも同氏の著書が数冊並んでいたが、読解力の乏しい自分には、あまりにも難しすぎて、チンプンカンプン単なる書棚の飾りでしかなかった。

平成二十四年度の改正介護保険法が四月から施行された。この改正介護保険法が改正なのか、改悪なのか読解力の乏しい自分にはサッパリ分からない。要は「地域包括ケアシステムの強化」という考え方のもと「在宅介護の充実」「介護と看護の一体的提供」「市区町村の権限の強化」というのが、大きな流れなのだろう。しかし、一、二%の介護報酬のアップが果たして介護職員の処遇の改善に繋がるのだろうか。二〇分未満の身体介護で何ができるのだろうか。生活援助の時間区分の線引きが六〇分から四五分になったことは、被介護者にとって、サービスの低下に結びつくのではないか。「定期巡回・随時対応サービス」は、移動距離の短い都市圏ではともかく、地方や過疎地域では事業者も被介護者も新サービス導入の恩恵を受けることは難しいのではないか。「在宅介護重視の施策」が、施設介護の利用希望者のニーズを汲み取れず、回りまわって在宅介護者の負担を増やすという結果に繋がるのではないか。読解力の乏しい自分にとっては難しいことばかりで、サッパリ分からない。



常務取締役 内谷 英明